

# のと海洋ふれあいセンター 中期経営目標

(実施期間 平成30年度～平成34年度)

平成30年3月 策定

## 1 施設の設置目的

能登半島国定公園の優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図ることにより、県民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的として設置しています。

## 2 施設の果たすべき役割

能登半島国定公園を代表する海岸美と豊かな自然に恵まれた九十九湾をフィールドとして活用し、多様な生きものたちとのふれあいを通して、来館者が海の自然への理解を深め、海を愛する心を育てる場とします。また、海の自然に関する調査研究と普及啓発活動を進め、海と人との望ましい関わり方を探る拠点として、重要な役割を果たす施設です。

## 3 事業内容

### (1) 自然体験・学習の場の提供

「いしかわ自然学校」の拠点施設として、自然体験や学習の場を提供するとともに、「いしかわ自然学校」のプログラムを提供する各施設や団体、教育機関等と連携し、指導者の養成を図ります。

### (2) 海の自然に関する調査研究

海の生きものに関する生態学的調査研究等を行い、県民に広報することにより、自然保護の必要性の意識高揚を図ります。

## 4 現状と課題

### (1) 管理運営体制について

・のと海洋ふれあいセンターは、民間のノウハウを活用して、施設を効率的・効果的に管理するため、指定管理者制度を平成18年度から導入しています。

・施設利用者に対する利便の提供、利用の促進、利用施設・設備、物品の維持管理及び修繕に関する業務等は指定管理者が行っており、中期経営目標の実施期間である平成30年度から平成34年度までは、「一般財団法人石川県県民ふれあい公社」を指定管理者として指定しています。

・県では、利用状況や利用者からのご意見、小修繕の実施状況等の管理状況について、指定管理者より定期的に報告を受け、運営指導や財政支援を行う等、適正な管

理・運営に努めています。

- ・県は、指定管理者と協議し、老朽化した施設の修繕等を実施しています。

## (2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・施設の利用促進にあたっては、施設の修繕や設備の更新を行うとともに、スノーケリング等の体験学習を提供し、利用者に気持ちよく利用していただける環境づくりや、交流を深めるイベントの開催等を行っています。
- ・広報活動として、ホームページの開設や各種マスメディア等を活用した情報発信を行うとともに、広報誌「能登の海中林」を発行しています。今後とも情報発信に努めます。

## (3) 施設運営の効率化について

- ・県と指定管理者間で連絡体制を確立し、情報を共有するなど、非常時にも対応できるように連携を図り、迅速かつ効率的な施設運営を行っています。
- ・近隣の宿泊施設である能登勤労者プラザとの一体的な管理運営により、経費の削減に努めます。
- ・今後とも、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを施設利用者に提供するとともに、管理経費の削減に努めます。

## 5 中期経営目標

### (1) 中期経営目標（指定管理者が実現すべき目標）

① 入館者数を5年間で5%増加させます。
② 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

### (2) 測定指標と目標値

測定指標		基準値 (H26～28平均)	中間目標値 (H32)	最終目標値 (H34)
① 入館者数		14,041人	14,300人	14,800人
② 利用者アンケートによる満足度	利用者サービス	99.3%	95%以上	95%以上
	施設の維持・管理	98.8%	95%以上	95%以上

## 6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

### (1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

- ・施設の利用促進にあたっては、順次施設の修繕を行うとともに、ウェットスーツ等の器材を充実させることで、引き続き利用者に気持ちよく利用していただける環境づくりを行っていきます。
- ・海の生きものや自然をテーマにした体験活動である「ヤドカリ学級」や海中を直接観察する体験スノーケリング、海岸に打ち上げられた貝殻等を利用した手作り教室等、「楽しみながら海に対する理解を深めてもらう」主催事業を開催拡充します。
- ・能登勤労者プラザや、能登少年自然の家の利用者に、プチクラフト作りの無料サービスを提供するほか、民間旅行業者と連携し、施設の利用を組み込んだ宿泊プランを提供することで、施設の利用促進に努めます。
- ・広報活動として、ホームページや普及誌「能登の海中林」など、各種マスメディア等を活用し、イベント情報の発信を強化していきます。
- ・県内の小学校への訪問説明や、公民館等でのポスター配布を行い、学校団体等が企画する体験型野外活動を積極的に受け入れます。
- ・引き続き、アンケートを実施し、利用者の声を参考にしながら、施設の利用促進に努めます。

## (2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・引き続き、県と指定管理者間で連絡体制を確立し、情報を共有し迅速かつ効率的な施設運営を行っていきます。
- ・施設の修繕や設備の更新を計画的に実施し、快適な環境の整備に努めます。
- ・指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを提供するとともに、能登勤労者プラザ等の他施設との一括した単価契約等により、経費の削減に努めます。

参考資料(施設の利用状況など)

(1)利用指標(利用人数、稼働率などの状況) (単位:人)

項目	H26	H27	H28
入館者数	13,549	14,068	14,507

(2)利用者アンケート指標

(利用者サービス) (単位:%)

項目	H26	H27	H28
良い	82.1	81.5	83.5
概ね良い	16.7	18.0	16.1
計	98.8	99.5	99.6
やや悪い	0.6	0.5	0.2
悪い	0.6	0.0	0.2

(施設の維持管理) (単位:%)

項目	H26	H27	H28
良い	81.9	78.4	81.0
概ね良い	16.3	20.7	18.1
計	98.2	99.1	99.1
やや悪い	1.4	0.9	0.9
悪い	0.4	0.0	0.0

(3)使用許可等の状況

利用者数に同じ

(4)使用料の収入実績 (単位:千円)

項目	H26	H27	H28
入場料	827	862	837